

標 題 : Adherence to Mediterranean diet in Crohn's disease.
クローン病における地中海食事の順守

著 者 : E. Papada, et al. (ギリシャ ハロコピオ大学 健康科学・教育部
糖尿病・栄養学科)

掲 載 誌 : Eur. J. Nutr. 2019 Apr 20. doi: 10.1007/s00394-019-01972-z.
[Epub ahead of print] [発行に先立つ電子出版]

要 旨 :

目 的 : クローン病の患者で地中海食事の順守を評価すること。

方 法 : クローン病の外来患者を、この手続きに登録した。
病歴、疾患活動性、食事摂取、習慣的な地中海食事スコア、身体測定値および炎症性腸疾患アンケート(IBDQ)を記録した。
生化学および炎症性の指標の定量のために、血液サンプルを採取した。

結 果 : 合計 86 人のクローン病の患者を登録した : 41 人が再発で ($5 \leq$ Harvey
Bradshaw 指数 ≤ 14)、45 人は寛解 (Harvey Bradshaw 指数 ≤ 4)。
地中海食事の順守は、不活性疾患の患者で高かった。
地中海食事スコアは IBDQ と正の相関をし ($p=0.008$)、疾患活動性と負の相関
をした ($p<0.001$)。

結 論 : 地中海食事の順守は、クローン病の患者で生活の質の改善と関連した。
地中海食事の高い順守はクローン病の患者で、生活の質を改善して疾患活動
性を低下させるのに重要な可能性がある。

キーワード : クローン病、疾患活動性、炎症、地中海食事、生活の質
